

広報

# くどやま

2020

11月号

NO. 541



ぼくのふるさとの未来を考える



経験や学びの機会を大切にしたいと、子ども議会が開催されました。



8月29日に、令和2年度子ども議会が、役場の議場において開催されました。子ども議会は、町内の小学生10名(うち議長1名)の児童・生徒が、町議会のしくみや流れを学び、また町づくりについての思いや希望を話し合うことを通して、子どもの考え方や発表能力を高めることを目的とし、毎年開催されています。今年も、新型コロナウイルス感染症の影響もあるため、開催するか検討しましたが、何事も新型コロナウイルスのせいにしてやめしてしまうのではなく、子どもたちの経験や学びの機会を大切にしたいと、開催が決定されました。

中村達希議長により議会が進行し、議員の質問は一般質問形式により1人1問で行われ、その内容は、今年も新型コロナウイルス感染症の影響に関するものが多く出されました。子どもたちは、みんな落ち着いて、わかりやすく発言し、町が現在直面している事柄を的確に質問していました。町長は、「毎年、子どもたちの質問内容は、よく考えられていて今の問題を的確にとらえている。本物の議会と変わらない内容となっている。」と話し、子どもたちの質問に対して1問ずつ丁寧に町も交えながら答弁し、子どもたちはその答えに、うなずきながら、納得した様子で聞いていました。



質問は全文を、答弁は要約して、載せています。



【質問】  
誰もが住みやすい町づくりについて

九度山小学校6年

神保 成希 議員

私は、九度山の町づくりについて子どもやお年寄りにとっての視点から質問したいです。例えば九度山町にはスロープがありません。だから、買い物に行こうと思ったら高野口か橋本に出ることになるため、橋を渡らないといけないということになります。これは、車を運転できる人にとってはそんなに気にならないことではないかもしれませんが、車を運転することができない高齢者は、タクシーを使って行くことになるため、簡単ではありません。

ここ九度山では、若い夫婦に住んでもらえるような取り組みが行われていると聞きました。同じように小さな子どもや高齢者にとっても優しい町づくりが、



誰もが住みやすい町の実現につながるのではないのでしょうか。これからの町づくりについてのお考えを教えてください。

【答弁】  
神保議員の発言のとおり、「誰もが住みやすい町づくり」を進めることが町の魅力を高めることと、取り組んでいます。新婚夫婦や子育て家族には、家賃補助やチャイルドシート購入補助、そして中学生まで医療費の無償化などを行い、住みやすい環境を整えています。75歳以上の高齢者にはシルバータクシーチケットを配布し、外出しやすくなるようにしています。

他にも町内に買い物をする場所が無い問題を解決するため、道の駅に農産物以外の食材や日用品も並べてもらえるようにしました。さらに高齢化が進むので、買い物支援などが今後の検討課題と考えます。

【質問】  
九度山町の感染症対策について

九度山小学校6年

古川 咲樹 議員

私は、九度山町の感染症対策について質問したいです。今、テレビは新型コロナウイルスについてニュースが流れない日がないと言っているほど、感染が拡大してきています。正直、最初はほとんど他人事のような気がしていましたが、しかし、今は違います。感染者がどんどん出ている中で、旅行をすすめる「Gotoキャンペーン」がスタートし、県外から多くの人が、和歌山県に来ています。

私たちが住むここ九度山町も、真田幸村ゆかりの地として、真田ミュージアムをはじめ、道の駅等、観光客に向けた施設があり、他県ナンバーの車が町内を走っているのによく見えます。観光客が来ることは街の活気にもつながるのでもよいと思うのですが、何か密にならないような制限や対策のようなものも必要なのではないかと思えます。町として、さらに感染が広がらないようにどのような対策をお考えでしょうか。

【答弁】



【質問】  
九度山町の災害対策について

九度山小学校6年

杉原 蒼弥 議員

私は、九度山町の災害対策について質問したいです。少し前に大雨の日が続いていた時、日本各地で洪水と同じくらい土砂崩れによる被害がありました。すごく怖いなあと思

古川議員のご質問のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく損害が生じた経済活動の再開が本格化すると、人の移動などによる感染拡大が懸念されます。観光客を完全に止める事は難しいため、各施設では来館者全員に検温やアルコール消毒などの感染予防対策を徹底しています。今後は、感染拡大状況を踏まえ、観光施設等の臨時休館などにより、感染予防に努めます。

うと同時に、九度山町は大丈夫なのかなと思えました。大雨による土砂崩れもありますが、来ると言われている南海トラフ地震がすごく心配です。もしそんな大きな地震が起こっても、町のみんが安全に避難することができるようなのではないかと、自分はどこに避難すればいいのか知るには、それだけでは不十分な気がします。

九度山町は土砂崩れの危険があるところが多いので、私たちが学校でする避難訓練を町全体とするのもよいのかなと考えたのですが、特に地震について、防災マップの他に対策があれば教えてほしいです。

【答弁】

杉原議員が心配される地震について、町でも防災マップのほか、様々な取り組みを行っています。

まずは、備蓄物資や防災資機材、消防団装備品の充実や消防車両の更新などを進めています。また、土砂災害の危険箇所が多いため、迅速かつ正確な避難情報の発信にも努めています。つぎに、自主防



【質問】  
河根地区の活性化について

河根中学校3年

正木 太遥 議員

僕たちは、6月に伊都地方こども地域学習に参加し、河根中学校の横を通っている京大坂道を歩きました。丹生神社や中屋旅館、塩竈、千石橋などの歴史を知り、むかしはたくさんの人々がこの道を歩き、河根の地で疲れを癒やし、高野山へお参りしたことがよくわかりました。今、河根地

災組織の設立促進に取り組んでいます。各地域では日頃から皆さんで防災教育や避難訓練などを実施されています。さらに、家具の転倒防止器具や地震ブレイカー設置に補助金を創設しています。最後に、議員ご提案の町全体の防災訓練は、参加する行政機関などと調整して、今年度末頃に実施する予定です。

区は過疎化が進み、人口がどんどん減っています。僕は、自然や歴史の豊かな河根地区のことをみんなに知ってほしいと思っています。そこで、河根地区を通るこの京大坂道をPRして、色々な人達にこの道を歩いてもらい、河根地区や九度山町の良さを広めることができないかなと考えています。たとえば、町のホームページに京大坂道のPR動画をアップする、SNSに道沿いの名所の写真を投稿する、イベントでウォークラリーをして、まちなかだけでなく、京大坂道の名所をチェックポイントにする、中屋旅館を民泊に利用するなどはどうでしょうか。河根地区の活性化についての考えを聞かせてください。

【答弁】

町では、観光産業に大きな力を注いでおり、町を「世界遺産」「まちなか」「自然体験」の三つのゾーンに分け、活用しています。河根・丹生川地区は、「自然体験ゾーン」として、歴史と自然を活用した『滞在型の体験観光』を軸に、都市部との交流を図りたいと考えています。

正木議員ご提案の「中屋旅館の民泊活用」は『滞在型の

体験観光』を実現するために、とても魅力的な意見ですが、家主さんの事情もあるため協議が必要で。

他にも民泊などに活用できるように「空き家バンク」を実施し、地域の建物を有効活用することが、発展に繋がると考えます。

また、ご指摘の情報発信は必要不可欠です。平成27年度に観光ホームページを独立させ、定期的に内容を更新しています。

地域のことを一番知っているのは、地域に住む方々です。ご意見は地域の実情であり、今後も情報を共有しながら活性化に努めます。



質問席

### 【質問】安全な通学路について 河根中学校3年

谷 俐空 議員

僕たちは、河根中学校まで、それぞれ親の車で送迎しても

もらえるだけでなく、高齢者の憩いの場として利用してもらうことができます。

2つめは、コンビニを増やすことで便利になるからです。生活に必要なものをすぐに買っていくことができ、高齢者の皆さんにとっても近くに買い物ができる場所があると安心だと思います。以上の理由から、カフェ・コンビニの誘致をしてはどうかと考えています。いかがでしょうか。

### 【答弁】

ご提案にあるとおり、カフェ・コンビニを誘致することは町の活性化や福祉にとって効果的であると考えます。

カフェが高齢者の方々にとって憩いの場になっていると聞いています。

このことから、今年度から新たにお店等始める方を応援する目的で、起業家支援補助金制度を作りました。

一方で、コンビニを誘致するには開業に適した土地が少ない、商売として成り立つかどうかという課題もあります。もう一方で、町にお店が増えているのは事実です。これは、「九度山町が好き」と思っている方がいるからです。そのように考えてくれる方をできる限り応援しお店を増や

らって通学しています。先日、大雨のため赤瀬橋から河根に向かう道が水没し、車が通れない状態になり、学校が臨時休校になりました。

また、その後、雨が続いたため、所々に落石があり、車が通りにくいとときもありました。僕たちは、車が安全に通れないと通学できません。クラスでも、通学路で心配なことはないか話し合いました。

みんなの話では、特に赤瀬橋から河根中学校までの道が細く、カーブも多いので、親が注意しながら運転してくれているそうです。

そこで、僕たちが安全に車で学校に登校できるように、また河根地区の人達が安全に通勤や買い物に車で行けるように、赤瀬橋から河根への道の安全点検はどのように計画されているのか、また、今後防災のための土砂崩れや落石を防止するネットを増やす、事故防止のためカーブミラーを増やすなどの対策はあるのでしょうか、教えて下さい。

### 【答弁】

赤瀬橋から河根集落までの道路は、和歌山県が管理しています。谷議員ご指摘の落石、道路冠水は、町でも確認し、県へ早急な対策を要望したと

すことで、更にまちの魅力を高め、住民の皆さまがより便利に生活できるよう取り組んでいます。



### 【質問】九度山町内学校におけるタブレットの普及について 九度山中学校3年

森脇 楓華 議員

ギガスクール構想の中、令和5年には1人1台タブレット等の端末をもつ時代がくると言われていますが、昨今の社会的な事情等を踏まえ、少しでも早く各学校へのタブレット等の支給とWiFi環境の整備をし、使いやすい環境にしてはどうでしょうか。

新型コロナウイルスにもなう臨時休校により、九度山中学校ではオンライン授業が実施され、希望する生徒にスマートフォンを貸し出していただきました。学校から動画配信とともに機器の貸し出しがあったため、休校中も安心して各自で勉強をすることが

ころ、検討しますとの回答を得ています。

カーブミラーは、現地調査を行い、必要な箇所について要望を行います。

また、安全点検は、県が週一回のパトロールや随時の維持作業を行っています。時期によって対応が遅れる場合もありますがご理解いただきたい、とのことでした。

町も、県にすべてを任せるとはならず、できる範囲で対応して、早期復旧に努めます。



質問席

### 【質問】九度山町内の道路の整備について 九度山中学校3年

龍 葵衣 議員

私は、九度山町内の道路の整備をしてはどうかと考えています。それについて、2つの提案をしたいと思っています。1つめは、歩道についてです。九度山町内の通学路など

できました。

しかし、再び全国で新型コロナウイルスの感染が拡大する中、状況によっては再度オンライン授業が実施される可能性もないとはいきれません。以上の理由から、少しでも早い各学校へのタブレット等の支給と、WiFi環境の整備をしてはどうかと考えています。いかがでしょうか。

### 【答弁】

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令にともない、町内一斉に臨時休校とし、児童・生徒の方々は自宅待機となりました。

中学校の先生方がプリントだけでなく本当の授業に近い学習ができるようオンライン授業に取り組み配信していただきました。

森脇議員ご指摘のとおり、新型コロナウイルスの感染が再び広がる中、今年度末までにすべての小中学生に1人1台、タブレット端末が利用できるように準備しています。また、WiFi環境も今年度中に整える準備をしています。学校で一人一台利用できる環境を整えば、各家庭に貸し出してオンライン授業を行うことは可能となる予定です。

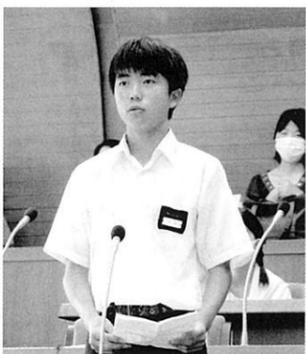
に歩道をつけてはどうでしょうか。歩道が整備されると、通学する際に車道との区別が明確につき、事故につながる危険性が低くなります。

2つめは、ガードレールについてです。山道や歩道に、ガードレールをつけてはどうでしょうか。ガードレールを設置することで、曲がり角に気づかず脱輪したり、車と歩行者が接触したりする事故の危険性が低くなると思います。以上のことから、歩道の整備、ガードレールの設置をしてはどうかと考えます。いかがでしょうか。

### 【答弁】

1つめの歩道の整備ですが、町内で通学・通勤等に利用する道路は、おもに国道や県道です。九度山駅から丹生橋までの県道は、歩道拡幅を含めた整備事業が始まりました。また、町内を通る国道370号についても、県道と同様に道路整備事業が決定されました。

町道については、通学路に指定されている道路は、家屋が接近して建っており、幅も十分でないため、車道を狭くして安全な歩道を設置することとは困難です。現在は、通学



### 【質問】川・駐車場の有料化について 中垣 敬斗 議員

九度山町にある美しい自然を守っていくことは地域に住む私たちにとても重要なことですが、ゴミの処理や保全活動等にもお金が必要だと思います。例えば、最近川へ遊びに来た方たちによるごみのポイ捨てが増え、以前に比べると川が汚れてきているように感じています。

そこで駐車場を有料化してはどうでしょうか。有料化すればその収入で、処理をする町の負担も少なくなると思います。さらに、人を雇うことができれば町の雇用にも繋がります。いかがでしょうか。

### 【答弁】

町内には、道の駅、役場などの無料開放駐車場や丹生川流域の有料駐車場があります。無料開放している道の駅の

時間帯に一方通行を行ない、当面の安全対策としています。2つめのガードレールの設置ですが、高低差がある場所や見通しの悪い場所には、すでに設置していますが、様々な条件により設置できていない箇所もあります。

今後は、道路の改良工事では道路の端がわかるような誘導標を検討したいと考えます。



### 【質問】九度山町へのカフェ・コンビニの誘致について 九度山中学校3年

和田 樹 議員

私はカフェ・コンビニの誘致をしてはどうかと考えています。

理由は2つあります。1つめは、カフェを増やすことが、九度山町全体を活性化することにつながると思うからです。より多くの若い観光客に来て

駐車場は、夏は川遊びの方の利用が多くなりますが、観光客なども利用するため、料金を徴収していません。

丹生川流域の有料駐車場は、九度山町観光協会が農林総合研修センター「さえもん」周辺の三カ所で運営しています。この料金収入で、不法投棄禁止啓発の幟や看板を設置し、ゴミの減量化に努めています。また、川遊びの方が多くなる期間は、会員が清掃活動を行います。

中垣議員が感じたとおり、以前に比べるとゴミの量が増えています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、アウトドアのお客が増加したことが一番の要因と考えます。今後は、今まで以上に清掃活動や注意喚起を行い、自然豊かな河川を守ります。

子どもたちの質問はどれも、今起きている問題や不安など日々の生活の中で、敏感に感じている思いを素直に表現しているものでした。

自分が住んでいる町について、どうすればよりよくなるか、どんな町に住みたいのか、自分たちで考え、質問しているまなざしは、真剣で、まっすぐ前を見据えていました。

## なぎなた和歌山大会夏季大会にて優秀な成績

8月30日、九度山町文化スポーツセンターにおいて第44回和歌山県なぎなた夏季大会が開催され、下記の通り優秀な成績をおさめました。

- 中学生打ち返しの部  
第3位 森 遥希（九度山教室）
- 中学生演技の部  
第2位 福本 響・森 遥希チーム（九度山教室）  
第3位 奥野 沙季・諏訪 恭廣チーム（九度山教室）



## 高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担金について

例年、高齢者インフルエンザ予防接種は1,000円の自己負担金が必要でしたが、本年度に限り、県内の医療機関において無償で受けることができます。

※伊都郡内・橋本市内の指定医療機関以外で接種される場合は、お問い合わせください。

※10月のお知らせ版2ページに掲載していた自己負担金は、不要となりました。

- 対象者 ①65歳以上の者  
②60歳以上65歳未満の者で、心臓・腎臓または呼吸器の機能に1級相当の障害を有する者（接種券が必要です。）  
※予防接種を受ける日の年齢が該当していること
- 期間 令和2年10月1日から令和3年1月31日まで
- 問い合わせ 住民課予防接種担当（☎54-2019）



## 11月11日～12月10日は人権を考える強調月間です。

「人権」という言葉からあなたはどんな印象を受けますか？「とても大切なもの」それとも「何だか堅苦しくて難しいもの」、「自分には関係ないもの」でしょうか？

「人権」とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、誰にとっても身近で大切なもの、日常の思いやりの心によって守られるものです。子どもたちに対しては、「命を大切にすること」「みんなと仲良くすること」としています。「人権」は難しいものではなく、誰でも心で理解し、感じることでできるものです。しかし現実の社会では、保護者からの虐待によって子どもの命が奪われたり、パートナーからの暴力によって心や身体に深い傷を受けたりすることがあります。また高齢だから、障害があるから、同和地区の出身だから、外国人だからということで差別を受けることもあります。どれも悲しく痛ましい人権問題です。このようなことがどうして起こるのでしょうか。どうすればこのようなことをなくせるでしょうか。ここでは、今起きている人権課題を紹介します。身近なもの、身近でないもの様々あるかもしれませんが、「人権」を考える機会をつくってみませんか？

### 日本国内の主な人権課題

- ・女性
- ・子ども
- ・高齢者
- ・障害のある人
- ・同和問題
- ・アイヌの人々
- ・外国人
- ・感染症患者（HIV・ハンセン病等）
- ・刑を終えて出所した人、その家族
- ・犯罪被害者等
- ・インターネットによる人権侵害
- ・ホームレス
- ・性的指向
- ・性同一性障害者
- ・北朝鮮当局によって拉致された被害者等
- ・人身取引（トラフィッキング）



## 災害時の法的トラブルに備えて ～和歌山弁護士会と九度山町が防災協定～

9月8日、役場において防災協定の締結式が行われ、本町と和歌山弁護士会との間で「災害発生時における法律相談業務等に関する協定」が締結されました。

この協定は、九度山町で災害が発生した際、町が法律相談会を開催する場合に和歌山弁護士会から弁護士を派遣いただき、さまざまなトラブルの早期解決を図ることを目的としています。

また、本協定には、災害を原因としてトラブルが発生した場合に、裁判に訴えるのではなく、弁護士が中立の立場で、申立人と相手方の間に入って話し合いを行い、早期に解決することを目指す「災害ADR（裁判外紛争解決手続）」の開催や広報周知に関する事項なども定められています。

締結式では、和歌山弁護士会から代表して山崎和成会長が出席され、「災害が起こらないことが一番だが、もし災害が発生したときは、住民の皆様のトラブルを早期に解決する手段として、本協定を活用して頂きたい」と話されていました。



▲協定を結んだ和歌山弁護士会の山崎会長と岡本町長

## 相互連携による地域社会の発展と住民サービスの向上を目指して ～第一生命保険株式会社と九度山町の包括連携協定～



9月14日、役場において包括連携協定の締結式が行われました。この協定は、第一生命保険株式会社と当町において、健康増進やワーク・ライフ・バランス子育て支援、高齢者支援、産業振興等の分野において連携し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展、および町民サービスのより一層の向上を図ることを目的としています。

広報くどやまNO.541 令和2年11月1日発行

戦没者等のご遺族の皆さまへ

# 特別弔慰金

の請求はお済みですか？



## 支給対象者

令和2年4月1日時点で「公務扶助料」や「遺族年金」等を受ける方（戦没者等の妻や父母）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給します。

戦没者等の死亡当時のご遺族で

1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方

2 戦没者等の子

3 戦没者等の ①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹

※ 戦没者等の死亡当時、生計関係を有している等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

4 上記1～3以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪等）

※ 戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

## 支給内容

額面25万円、5年償還（1年に5万円）の記名国債

※ 特別弔慰金は、ご遺族を代表するお一人が受け取るものです。ご遺族間の調整は記名国債を受け取った方が責任を持って行うことになります。

## 請求期間

令和2年4月1日～令和5年3月31日まで

※ この期間を過ぎると請求できなくなりますので、ご注意ください。



まだ請求されていない方、受給資格について等、質問がありましたら、お問い合わせください。

九度山町役場 福祉課 54-2019